

令和5年11月20日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼 伸至

室長補佐 村田 美智恵

(担当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7592)

(直通電話) 03(3595)2322

第11回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結婚の状況	3
2 出生の状況	4
(1) 希望子ども数と子どもをもつ意欲	4
(2) 夫の休日の家事・育児時間	5
(3) 子ども観	6
3 出産前後の就業状況の変化	7
参考	8
用語の定義	12

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。
掲載場所：「統計情報・白書」→「各種統計調査」→「最近公表の統計資料」
→「第11回21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）の概況」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/seinen24/index.html>

調 査 の 概 要

1 調査の目的

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成24年から実施しており、今回で11回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成24年10月末時点で20～29歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第1回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第9回又は第10回調査において協力を得られた者を調査客体（9,049人）とした。

第11回調査における対象者の年齢は、30～39歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第11回調査 令和4年11月2日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

就業の状況、現在の就業意欲、仕事と子育ての両立支援制度の利用状況、配偶者の有無、子どもの状況、家計の状況 等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。なお、第5回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（7,675人）のうち、第1回調査から第11回調査まで集計可能である5,031人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	3,821	3,179	2,093
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	188	163	97
女性票	5,228	4,496	2,938
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	82	76	42
計	9,049	7,675	5,031

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

（参考）各調査回の調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%
第2回	21～30歳	33,835	18,979	56.1%
第3回	22～31歳	30,741	15,326	49.9%
第4回	23～32歳	20,082	14,300	71.2%
第5回	24～33歳	16,731	11,879	71.0%
第6回	25～34歳	14,600	10,230	70.1%
第7回	26～35歳	12,353	9,456	76.5%
第8回	27～36歳	10,907	8,587	78.7%
第9回	28～37歳	9,889	8,655	87.5%
第10回	29～38歳	9,251	7,713	83.4%
第11回	30～39歳	8,779	7,436	84.7%

（注）第1回調査は、調査員調査により実施。

9 利用上の注意

（1）表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…

（2）この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

（3）「21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）」と「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成24年成年者」「平成14年成年者」としている。

なお、「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」は、平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者（ただし、第11回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象としたものであり、この概況では平成14年10月末時点で20～29歳であった者を集計している。

結果の概要

1 結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの10年間の結婚の状況をみると、男36.5%、女53.1%が結婚している。

第1回調査（平成24年）時に独身であった者のうち、「第1回から第11回間に結婚」した者の割合は、男36.5%、女53.1%であり、第11回調査時に「結婚していない」（独身者）者の割合は、男63.5%、女46.9%となっている（表1）。

また、第1回の結婚意欲別にこの10年間の結婚の状況をみると、男女とも「結婚意欲あり」と答えた者の方が、「どちらとも言えない」「結婚意欲なし」と答えた者より、この10年間で結婚した割合が高くなっている（図1）。

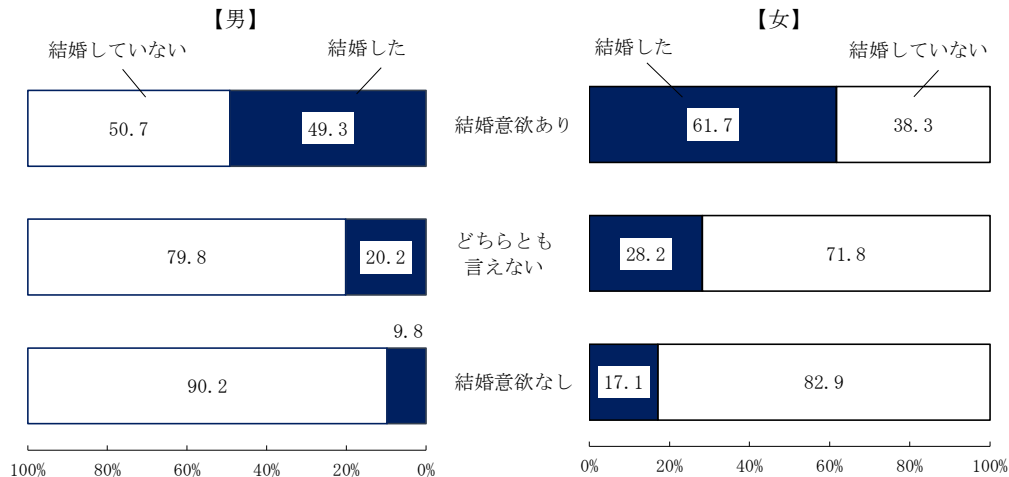
表1 第1回からの性、年齢階級別にみたこの10年間の結婚の状況

性 第1回の年齢階級 (第11回の年齢階級)	総数	第1回調査時に 既婚	第1回調査時に 独身	第1回から 第11回間に	
				結 婚	結 婚して いない
男	100.0	11.7	88.3	32.2	56.1
20～24歳 (30～34歳)	100.0	2.8	97.2	32.2	65.0
25～29歳 (35～39歳)	100.0	17.9	82.1	32.3	49.9
女	100.0	13.9	86.1	45.7	40.4
20～24歳 (30～34歳)	100.0	3.6	96.4	50.0	46.4
25～29歳 (35～39歳)	100.0	22.0	78.0	42.3	35.7

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「第1回から第11回間に結婚」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、第1回の結婚意欲別にみたこの10年間の結婚の状況



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)第1回の結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

2 出生の状況

(1) 希望子ども数と子どもをもつ意欲

独身時の希望子ども数は、男女ともに「2人」だった割合が高い。また、男 72.7%、女 76.7%に子どもがいる。

第1回調査時に独身で、第11回調査時に既婚だった者の第1回の希望子ども数をみると、男女とも「2人」が多く、男 65.1%、女 63.3%となっている。

第11回調査時に「子どもあり」の割合は男 72.7%、女 76.7%となっており、希望子ども数が多いほど高い傾向となっている。(表2)

また、第1回からの夫婦について、第1回調査時の子どもをもつ意欲別にこの10年間の出生の状況をみると、夫婦とも子どもを「もちたい」と答えた者の方が、「もてなくてもかまわない」「今後子どもは欲しくない」と答えた者より、この10年間に出生した割合が高くなっている(図2)。

表2 第1回調査時に独身であった者の性、希望子ども数別にみた出生の状況

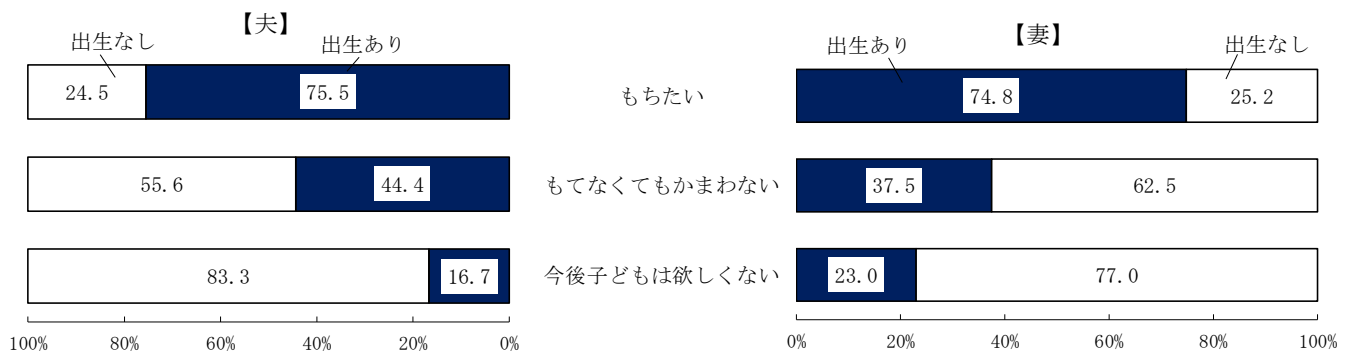
(単位：%)

		子ども数(第11回)							
		総数		子どもあり	子どもあり			子どもなし	
					1人	2人	3人以上		
希望子ども数(第1回)	男	総数	(100.0)	100.0	72.7	30.4	34.6	7.7	27.3
	0人	(3.7)	100.0	59.1	45.5	13.6	-	40.9	
	1人	(7.4)	100.0	68.2	34.1	27.3	6.8	31.8	
	2人	(65.1)	100.0	71.7	29.3	35.2	7.2	28.3	
	3人以上	(20.7)	100.0	79.0	29.8	38.7	10.5	21.0	
	女	総数	(100.0)	100.0	76.7	31.7	36.2	8.9	23.3
	0人	(3.9)	100.0	44.9	32.7	12.2	-	55.1	
	1人	(5.3)	100.0	66.7	30.3	33.3	3.0	33.3	
	2人	(63.3)	100.0	77.5	32.2	38.3	7.0	22.5	
	3人以上	(26.3)	100.0	82.3	30.9	35.2	16.2	17.7	

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「総数」には、第1回の「希望子ども数」の不詳を含む。

図2 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの10年間の出生の状況



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)第1回の子どもをもつ意欲の「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「今後子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

(2) 夫の休日の家事・育児時間

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。

夫婦について、夫の休日の家事・育児時間別に、この10年間の出生の状況をみると、子どもが1人以上いる夫婦では「家事・育児時間なし」で40.0%、家事・育児時間ありでは7割以上で第2子以降が生まれており、平成14年成年者と同様に、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれる割合が高くなる傾向がある（表3、図3）。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の出生の状況

		総数				子どもなしの夫婦			子ども1人以上の夫婦		
		出生あり	出生なし	第1子 出生あり	出生なし	第2子 以降 出生あり	出生なし				
								出生あり	出生なし		
夫の 育児 時間 の 家事 ・	総数	(100.0)	100.0	72.5	27.5	100.0	57.0	43.0	100.0	86.2	13.8
	家事・育児時間なし	(3.6)	100.0	59.6	40.4	100.0	63.8	36.2	100.0	40.0	60.0
	2時間未満	(31.8)	100.0	61.4	38.6	100.0	57.8	42.2	100.0	78.0	22.0
	2～4時間未満	(22.9)	100.0	69.5	30.5	100.0	54.8	45.2	100.0	84.5	15.5
	4～6時間未満	(12.5)	100.0	83.0	17.0	100.0	48.6	51.4	100.0	90.3	9.7
	6時間以上	(24.1)	100.0	87.3	12.7	100.0	46.2	53.8	100.0	88.7	11.3

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

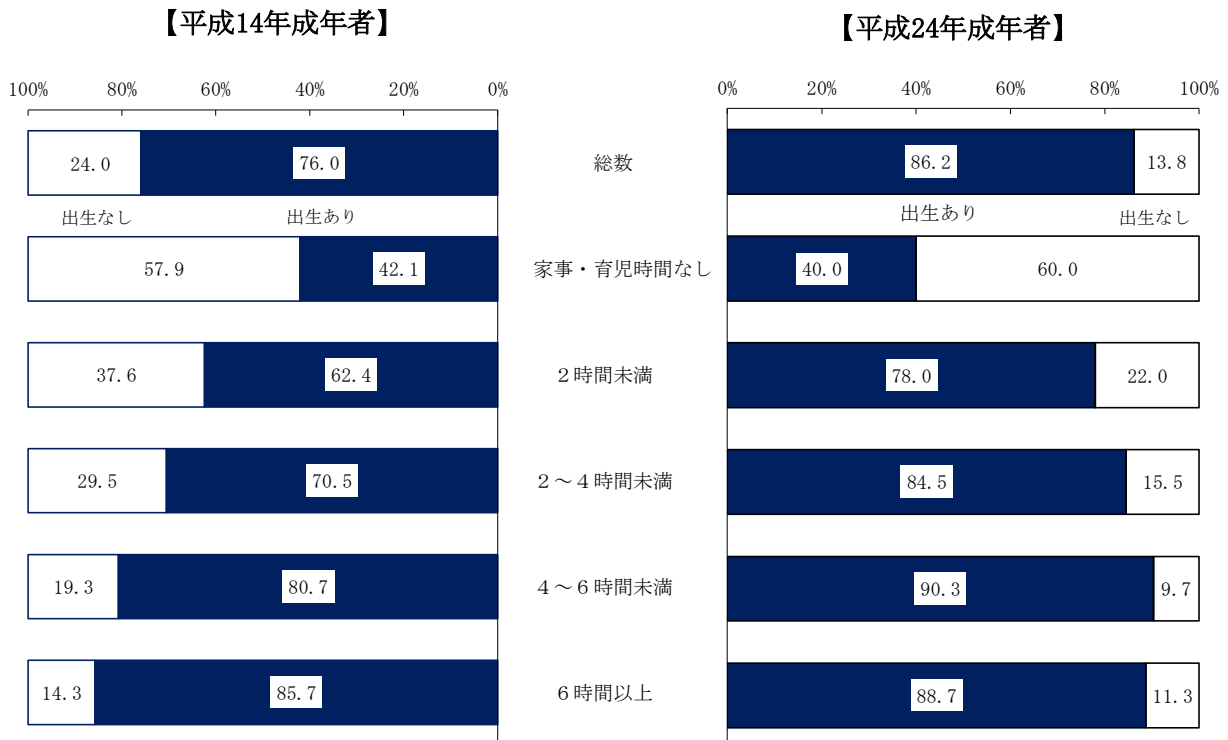
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

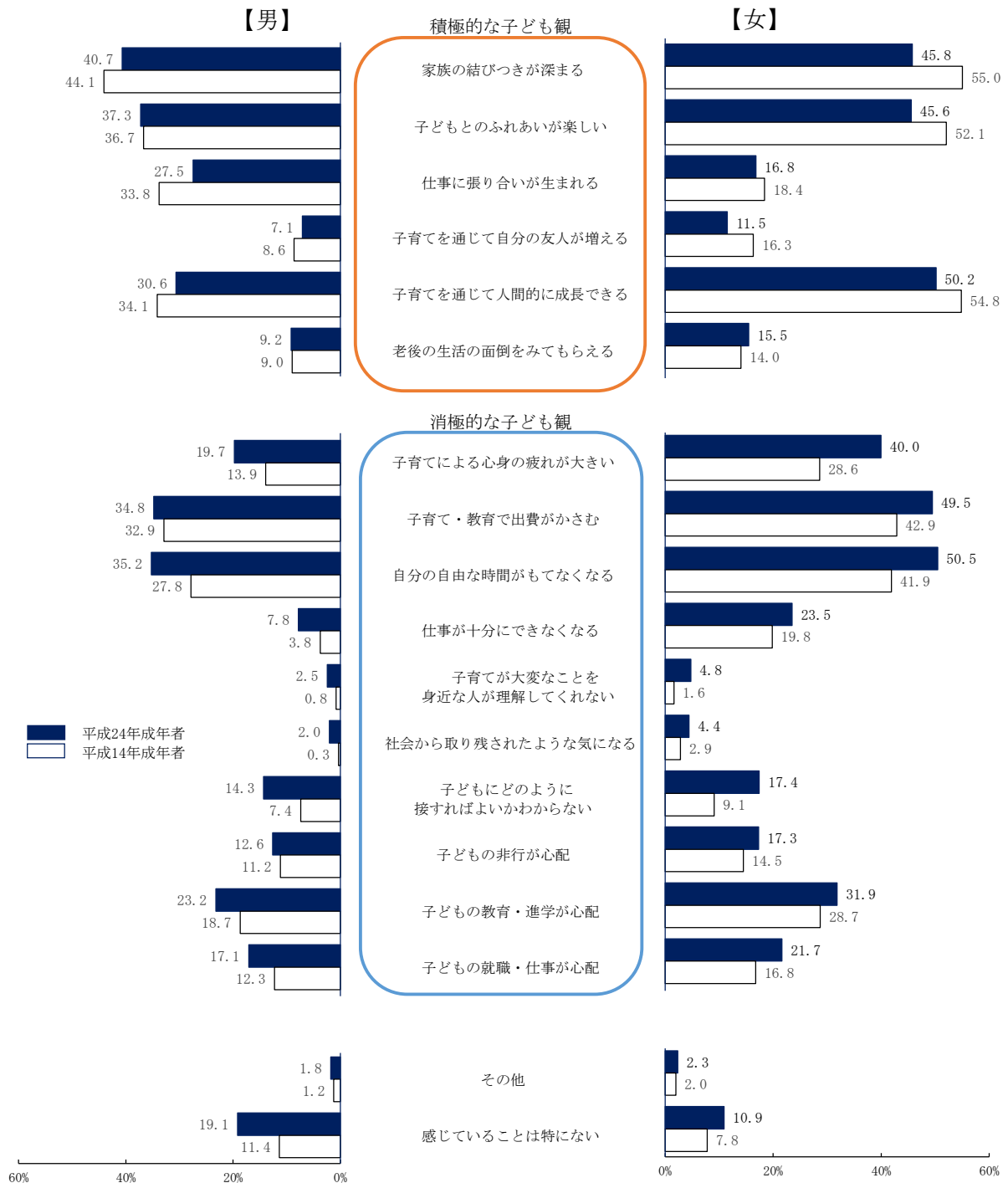
4)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

(3) 子ども観

独身者について子ども観の割合をみると、積極的な子ども観は平成14年成年者の方が高い傾向となり、消極的な子ども観は平成24年成年者の方が高い傾向となっている。

独身者について子ども観の割合をみると、「家族の結びつきが深まる」などの積極的な子ども観は、平成14年成年者の方が高くなる傾向にあり、「子育てによる心身の疲れが大きい」などの消極的な子ども観は、平成24年成年者の方が高くなる傾向となっている。(図4)

図4 独身者の性別にみた子ども観(複数回答)
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「独身者」と「子ども観」は、平成24年成年者は第11回調査時の、平成14年成年者は第12回調査時の状況である。

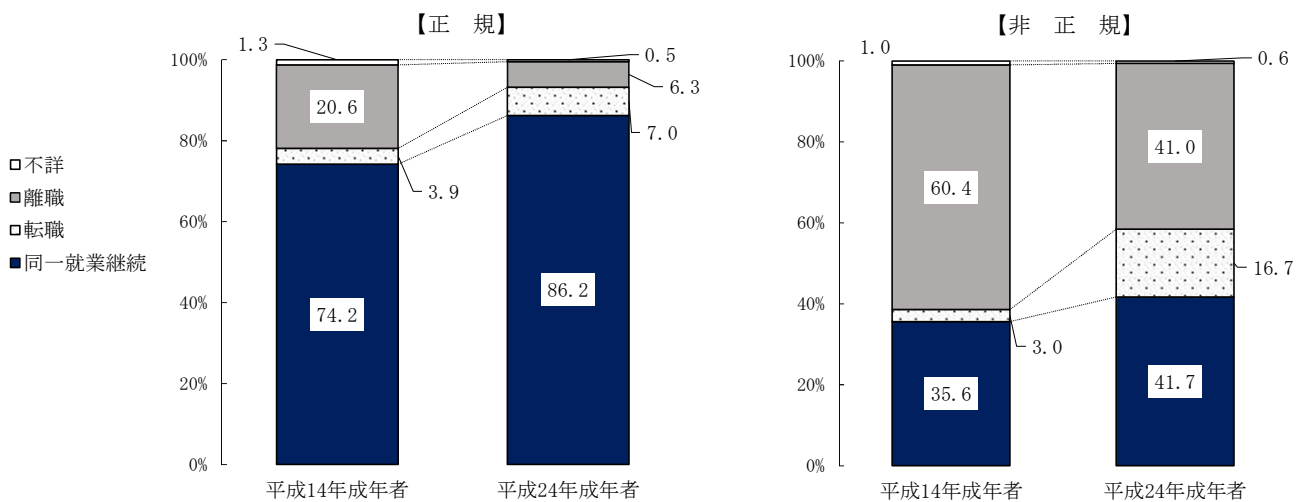
3 出産前後の就業状況の変化

妻の出産後の就業状況をみると、正規・非正規ともに「離職」の割合が、平成14年成年者と比べ低くなっている。

この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）について、出産後の就業状況をみると、正規・非正規ともに「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図5）。

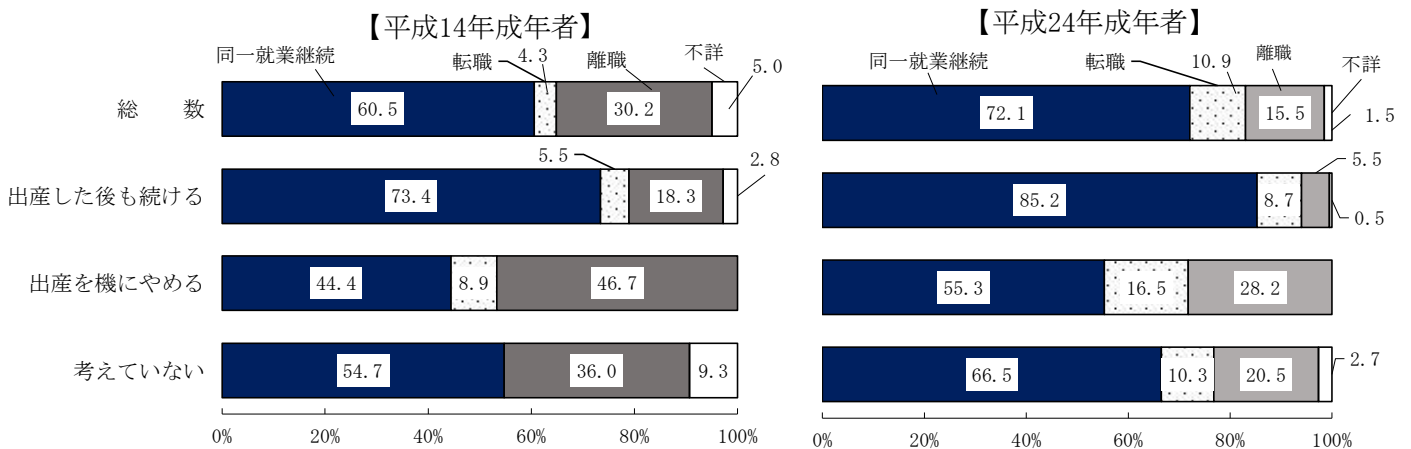
また、第1回の出産後の就業継続意欲別に「出産後の就業状況」の変化をみると、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図6）。

図5 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
正規・非正規別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
第1回の「出産後の就業継続意欲」別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)平成24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
3)総数には、「出産後の就業継続意欲」の不詳を含む。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

参 考

1 集計対象の条件

第1回調査から第11回調査までの蓄積データ

集計対象の条件	図表番号
第1回調査から第11回調査まで継続して回答している者	/
第1回調査の「男性票」「女性票」の対象者	表 1
第11回調査時の独身者、第1回調査時に20～29歳	図 4
第1回調査時の独身者	図 1
第11回調査時の既婚者	表 2
第1回調査から第11回調査まで双方が回答している夫婦 ただし、妻の出生前データが得られていない夫婦は除く	図 2
以下の(a)又は(b)に該当する同居夫婦（妻の出生前データが得られていない夫婦は除く。） (a) 第1回調査から第11回調査まで双方が回答している夫婦 (b) 第1回調査時に独身で第10回調査までの間に結婚し、結婚後第11回調査まで回答している夫婦	表 3
以下の(a) かつ (b) に該当する夫婦 (a) 子ども1人以上の夫婦 (b) 第1回調査時に20～29歳	図 3
以下の(a)～(d) 全てに該当する女性 (a) 出産前に仕事ありで、かつ、第1回の「女性票」の対象者 (b) 第1回の希望子ども数が1人以上と回答 (c) 第11回調査時の既卒者 (d) 第1回調査時に20～29歳	図 5 図 6

2 集計客体数一覧

表1 第1回からの性、年齢階級別にみたこの10年間の結婚の状況

(単位：人)

性 第1回の年齢階級 (第11回の年齢階級)	総数	第1回調査時に 既婚	第1回調査時に 独身	結婚の状況	
				第1回から 第11回間に 結 婚	結婚して いない
男	1 996	233	1 763	643	1 120
20～24歳 (30～34歳)	821	23	798	264	534
25～29歳 (35～39歳)	1 175	210	965	379	586
女	2 896	403	2 493	1 323	1 170
20～24歳 (30～34歳)	1 273	46	1 227	636	591
25～29歳 (35～39歳)	1 623	357	1 266	687	579

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「第1回から第11回間に結婚」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、第1回の結婚意欲別にみたこの10年間の結婚の状況

(単位：人)

性 第1回の結婚意欲	総数	結婚した ³⁾	結婚して いない
男	1 763	643	1 120
結婚意欲あり	1 051	518	533
絶対したい	436	268	168
なるべくしたい	615	250	365
どちらとも言えない	466	94	372
結婚意欲なし	215	21	194
あまりしたくない	130	17	113
絶対したくない	85	4	81
不詳	31	10	21
女	2 493	1 323	1 170
結婚意欲あり	1 898	1 172	726
絶対したい	993	721	272
なるべくしたい	905	451	454
どちらとも言えない	401	113	288
結婚意欲なし	175	30	145
あまりしたくない	109	21	88
絶対したくない	66	9	57
不詳	19	8	11

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)第1回の結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

表2 第1回調査時に独身であった者の性、希望子ども数別にみた出生の状況

(単位：人)

性 第1回の希望子ども数	総数	子ども数 (第11回)				子ども なし
		子ども あり	1人	2人	3人以上	
男	598	435	182	207	46	163
0人	22	13	10	3	-	9
1人	44	30	15	12	3	14
2人	389	279	114	137	28	110
3人以上	124	98	37	48	13	26
不詳	19	15	6	7	2	4
女	1 241	952	393	449	110	289
0人	49	22	16	6	-	27
1人	66	44	20	22	2	22
2人	786	609	253	301	55	177
3人以上	327	269	101	115	53	58
不詳	13	8	3	5	-	5

注：集計対象は、8頁「参考」を参照。

図2 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの10年間の出生の状況

(単位：人)

性 第1回の子どものもつ意欲	総数	出生あり	出生なし
夫	231	137	94
もちたい	151	114	37
絶対にもちたい	65	54	11
できればもちたい	86	60	26
もてなくてもかまわない	9	4	5
今後子どもは欲しくない	60	10	50
不詳	11	9	2
妻	231	137	94
もちたい	155	116	39
絶対にもちたい	75	66	9
できればもちたい	80	50	30
もてなくてもかまわない	8	3	5
今後子どもは欲しくない	61	14	47
不詳	7	4	3

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
 2)第1回の子どものもつ意欲の「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「今後子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どものもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の出生の状況

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間	総数			子どもなしの夫婦			子ども1人以上の夫婦		
	総数	出生あり	出生なし	夫婦	第1子出生あり	出生なし	夫婦	第2子以降出生あり	出生なし
総数	1 602	1 161	441	754	430	324	848	731	117
家事・育児時間なし	57	34	23	47	30	17	10	4	6
2時間未満	510	313	197	419	242	177	91	71	20
2～4時間未満	367	255	112	186	102	84	181	153	28
4～6時間未満	200	166	34	35	17	18	165	149	16
6時間以上	386	337	49	13	6	7	373	331	42
不詳	82	56	26	54	33	21	28	23	5

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
 2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
 3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
 4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：組)

夫の休日の家事・育児時間	平成14年成年者			平成24年成年者		
	出生あり	出生なし	出生あり	出生あり	出生なし	出生なし
総数	699	531	168	848	731	117
家事・育児時間なし	19	8	11	10	4	6
2時間未満	125	78	47	91	71	20
2～4時間未満	129	91	38	181	153	28
4～6時間未満	150	121	29	165	149	16
6時間以上	259	222	37	373	331	42
不詳	17	11	6	28	23	5

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
 2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。
 3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図4 独身者の性別にみた子ども観（複数回答）【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：人)

子ども観（複数回答）	男		女	
	平成14年成年者	平成24年成年者	平成14年成年者	平成24年成年者
総数	905	1 175	912	1 284
家族の結びつきが深まる	399	478	502	588
子どもとのふれあいが楽しい	332	438	475	585
仕事に張り合いが生まれる	306	323	168	216
子育てを通じて自分の友人が増える	78	83	149	148
子育てを通じて人間的に成長できる	309	360	500	644
老後の生活の面倒をみてもらえる	81	108	128	199
子育てによる心身の疲れが大きい	126	232	261	513
子育て・教育で出費がかさむ	298	409	391	635
自分の自由な時間がもてなくなる	252	414	382	648
仕事が十分にできなくなる	34	92	181	302
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	7	29	15	61
社会から取り残されたような気になる	3	24	26	57
子どもにどのように接すればよいかわからない	67	168	83	224
子どもの非行が心配	101	148	132	222
子どもの教育・進学が心配	169	273	262	409
子どもの就職・仕事が心配	111	201	153	278
その他	11	21	18	30
感じていることは特にない	103	225	71	140
不詳	176	-	44	-

注：1) 集計対象は、8頁「参考」を参照。

2) 「独身者」と「子ども観」は、平成24年成年者は第11回調査時の、平成14年成年者は第12回調査時の状況である。

図5 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
正規・非正規別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：人)

	出産後の就業状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	不詳
平成24年成年者					
正規	384	331	27	24	2
非正規	156	65	26	64	1
平成14年成年者					
正規	155	115	6	32	2
非正規	101	36	3	61	1

注：1) 集計対象は、8頁「参考」を参照。

2) 10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
第1回の「出産後の妻の就業継続意欲」別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】

(単位：人)

第1回の出産後の就業継続意欲	出産後の妻の就業状況											
	平成14年成年者						平成24年成年者					
	総数	仕事あり	同一就業継続	転職	離職	不詳	総数	仕事あり	同一就業継続	転職	離職	不詳
総数	258	167	156	11	78	13	476	395	343	52	74	7
出産した後も続ける	109	86	80	6	20	3	183	172	156	16	10	1
出産を機にやめる	45	24	20	4	21	-	85	61	47	14	24	-
考えていない	75	41	41	-	27	7	185	142	123	19	38	5
続けるかどうか考えていない	178	137	119	18	36	5
今後の出産は考えていない	7	5	4	1	2	-
不詳	29	16	15	1	10	3	23	20	17	3	2	1

注：1) 集計対象は、8頁「参考」を参照。

2) 平成24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。

3) 10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

用語の定義

- 1 「**独身者**」又は「**独身であった者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別及び死別は区別していない。また、「子どもあり」の者も含まれる。
- 2 「**既婚**」又は「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。
- 3 「**結婚意欲**」とは、「今後、結婚したいと思いますか。」と質問したものである。
- 4 「**希望子ども数**」とは、(すでにいる子どもを含めて)全部で何人の子どもが欲しいかを把握したものである。
- 5 「**子どもをもつ意欲**」とは、「今後、子どもをもつことについて、どのように思っていますか。」と質問したものである。
- 6 「**家事・育児時間**」とは、1日の中で家事や育児に何時間くらい費やしているかを、平日と休日に分けて質問したものである。
- 7 「**子ども観**」とは、子どもをもつことに関する考え方を質問したものである。
- 8 「**正規**」及び「**非正規**」とは、次の就業形態をいい、「勤め先での呼称」に基づいている。

正	規	……	正規の職員・従業員
非	正	規	…… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託、その他
- 9 「**出産後の就業継続意欲**」とは、「出産した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 10 「**就業状況の変化**」とは、調査時点をA時点、B時点(A時点<B時点)としたときの、仕事の有無及び就業形態について比較したものであり、次の変化の状況をいう。

同一就業継続	……	A時点、B時点において、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。
転	職	…… B時点で、A時点とは勤め先または就業形態が異なっていることをいう。
離	職	…… A時点で仕事あり、B時点で仕事なしのことをいう。
- 11 「**仕事あり**」とは、調査日現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む。)についていることをいう。また、調査日現在、仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業)である場合も含む。
- 12 「**既卒**」とは、最終学歴が「卒業」となっていることをいう。
- 13 「**10年間**」とは、第1回調査から第11回調査までの間のことをいう。